

令和6年度 10.11月 第120号

はなみずき通信



社会福祉法人はなさきむら
特別養護老人ホームはなみずき



ご家族の皆様へ

担当

10月お誕生日

U.N	様	1日	85歳	K.M	様	29日	91歳
Y.T	様	11日	96歳	K.S	様	29日	88歳

オレンジカフェ開催

11月27日に、中安ふれあいセンターでオレンジカフェを開催しました。13名とたくさんの方々に参加していただきました。クリスマスリース作りをしながら会話も盛り上がり、楽しい時間を過ごして頂きました。



オレンジカフェの役割は、認知症は見えない病気なので周囲は気が付かず、知らず知らずに本人は孤立してしまうことがあります。周囲や地域の人にも認知症になると何もできないという偏見ともいえる偏った見方をすることで、本人も言い出しにくくなります。同じように家族も悩んでいても周囲には言えないと感じて自分だけで抱え込んでしまうことがあります。また、早期診断がなされても何も支援が無い期間、この空白の期間は診断後だけではありません。違和感を覚えてもなかなか病院に繋がらない事や、専門職と繋がらない事で相当悪化してから再び診断を受けに行くことがあります。これも「空白の期間」です。こうした空白を満たす役割があります。空白の期間は、地域や周囲が変わることで希望に繋がる期間にもなる可能性があると言われてます。

オレンジカフェは認知症予防を標榜すると認知症の人は入りにくい環境になるので、認知症の人が訪れやすい雰囲気、運動やゲームなども認知症の人への配慮をしつつ名乗る必要も探す必要もないのです。話しやすい雰囲気ができていれば自然と相談できる環境ができるはず。そのことから、そこに集う人は皆認知症のことを考える当事者であるという認識は必要ありませんので、是非機会があればご参加下さい。



編集後記

11月初めには夏のような暑さかと思う日もありましたが、やはり急に寒さがやってきました。まだまだ予断を許さないコロナウイルスとインフルエンザの流行の季節となりました。まちかどでは、マスクをされていない方を多く見かけるようになりました。しかし、今だに面会制限をさせて頂いてます事、ご不満に思われているご家族様もおられるかと思いますが、高齢者施設であります事、ご心配ご不便をおかけいたしますがご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

編集メンバー 藤本・嶋田・萩原・小林紀・寺坂・西島・八木・豊永

令和6年12月10日発行

《発行》 ともに暮らし ともに生きる

社会福祉法人はなさきむら

特別養護老人ホーム はなみずき

(特別養護老人ホーム・短期入所生活介護)

〒679-5205

兵庫県佐用郡佐用町安川401

TEL 0790-78-8003

FAX 0790-78-8005

米寿・敬老 おめでとうございます



10月16日に、佐用町より米寿と敬老のお祝いを持って来られました。とても喜ばれ、何か買おうかなと楽しそうに考えておられました。これからも、健やかに過ごしていただけますようお祈りいたします。

南光園運動会

10月10日に、南光園運動会にご招待いただき、参加してきました。久しぶりの外出でお天気も良く、玉入れをされたり、とても楽しめました。



お誕生日メニュー

毎月二週目の木曜日は、行事メニューとなっています。誕生日の方の好物等取り入れたりしています。10月といえばお祭りですので栗入りのお赤飯でした。毎年、赤飯、鯖寿司や巻き寿司を作っていたと懐かしそうに話されていました。11月は、お好きな方が多い握り寿司でした。うなぎのねたのリクエストがあり、とても喜んで食べられました。



お誕生日会&UT行事



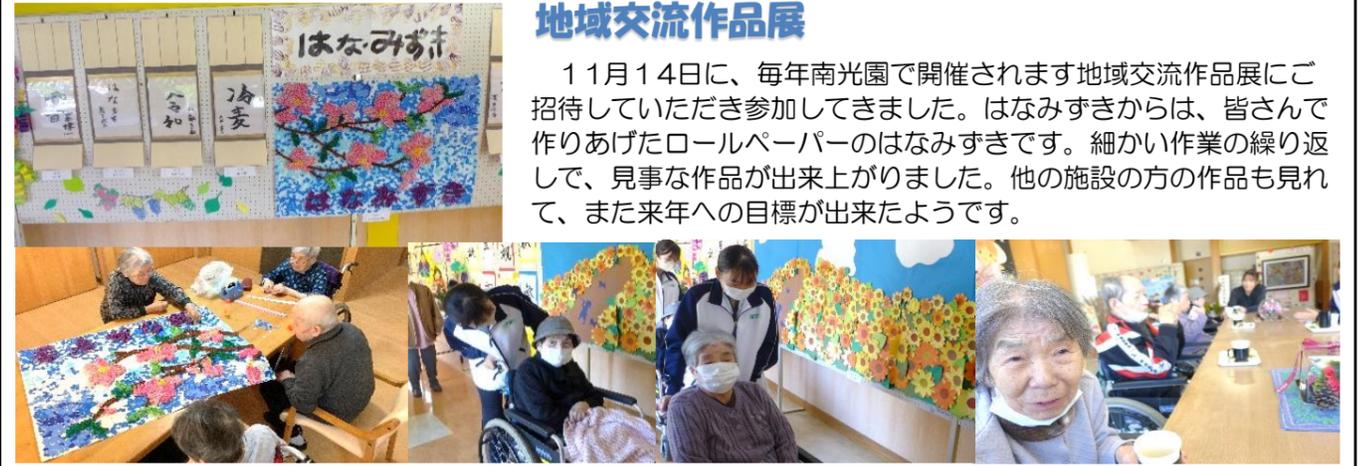
ハナモモでは、10月31日にお誕生日会をしました。10月生まれの方全員が同じユニットの方でした。頂いたケーキを食べたり、記念撮影にも応じてくださりたいへん盛り上がりしました。

ヤマブキでは、10月23日と11月28日に職員手作りスイーツでお茶会をしました。



地域交流作品展

11月14日に、毎年南光園で開催されます地域交流作品展にご招待いただき参加してきました。はなみずきからは、皆さんで作ったロールペーパーのはなみずきです。細かい作業の繰り返しで、見事な作品が出来上がりました。他の施設の方の作品も見れて、また来年への目標が出来たようです。



上津中出前授業

11月12日に地域包括支援センター・いこいの家・はなみずきで上津中学校へ訪問し、生徒の皆さんに認知症サポーター中学生養成講座を開催しました。はなみずきで実習中の龍野北高校の生徒さんと一緒に参加してもらいました。認知症とはどのようなものか、認知症の人を介護する家族の負担、認知症の人と接する時の心構え等副読本をもとに進めていきました。

認知症サポーターとは、認知症の人の「応援者」のことです。特別な事をする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。認知症は誰でもなる可能性のある病気です。他人事ではなく自分たちの問題だと考え、自分達に何ができるか考えてもらえるきっかけになってほしいと思い

受講修了証としてオレンジリングを渡しました。オレンジリングは認知症ケアのシンボルであり、ロバ隊長は「認知症サポーターキャラバン」のマスコットです。キャラバンを率いるロバ隊長のようにゆっくりと急がずに一歩ずつを踏みしめながら、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を進めていけるようにとデザインされています。

倶楽部活動

毎週金曜日に、カラオケや習字教室等フロアごとに行っています。今回は、お天気がとてもよかったので外でボール投げや体操をしました。皆さんとてもハッスルされていました。

